

兵庫県と高知県の高校生による防災ワークショップ & フィールドワーク 実施要項

1 目的 全国で唯一「環境防災科」を設置し、自然災害について専門的に学んでいる兵庫県立舞子高等学校の高校生を招いて、これから南海地震を経験する可能性のある高知の高校生どうしが、「防災」について考え、何ができるかを話し合うとともに、お互いの友情を深めあいます。

2 日時 平成17年8月2日(火)～3日(水)

3 会場 高知県立高知東高等学校(1日目)、土佐市宇佐 他(2日目)

4 日程(概要) 天候不良の場合は、活動内容を変更する場合があります。

8月2日(火曜日)

12:30～ 受付

13:00～14:00 出合いのつどい

14:00～17:00 ワークショップ

(概要) 高知と兵庫の住むところの違う高校生どうしが、これまでの体験を踏まえ、話し合いをとおして自然災害についての認識を深め、高校生として何ができるかを考え、壁新聞にまとめ発表し合います。

17:00～19:30 夕食準備・交流会

8月3日(水曜日)

8:30～ 受付(高知東高等学校)

8:40～14:00 フィールドワーク

(案内: 高知大学理学部教授 岡村 眞さん)

(概要) 土佐市宇佐地域

宇佐は、1707年の宝永、1854年の安政、1946年の昭和の南海地震で繰り返し津波の被害に遭っています。その史跡を訪ねるとともに、住民主体の津波対策をすすめる地域の取り組みをお聞きします。

講師: 宇佐地区町内会連合会事務局長 山本幸一郎さん

桂浜(昼食)防潮堤などの観察を行います。

五台山展望台

高知市内を一望し、昭和の南海地震で浸水した区域を、当時の写真と見比べます。

14:30 解散

5 参加費 無料(ただし、2日夕食・3日昼食が必要な者は、自己負担となります。)

6 参加対象 高知市内公立高校の高校生・教職員を対象とします。

7 参加申し込み

2日間の参加を原則とします。

各学校単位で、7月20日(火)必着で、申し込み用紙を高知東高校まで提出して下さい。生徒のみでの参加は受け付けません。必ず、引率の教職員を含めて下さい。申し込み者が多数の場合は、受付順とします。詳細日程は、受付後お送りします。

8 問い合わせ先 高知県立高知東高等学校

TEL (088) 845-5751

FAX (088) 846-1394

9 主催 高知県立高知東高等学校

兵庫県と高知県の高校生による 防災ワークショップ & フィールドワーク

日時 平成17年8月2日(火)～3日(水)

会場 (1日目)高知県立高知東高等学校
(2日目)土佐市宇佐 他

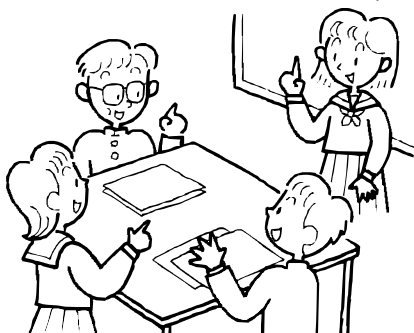
全国で唯一「環境防災科」を設置し、自然災害について専門的に学んでいる兵庫県立舞子高等学校の高校生を招いて、これから南海地震を経験する可能性のある高知の高校生どうしが、「防災」について考え、何ができるかを話し合うとともに、お互いの友情を深めあいます。

日程の概要

8月2日(火曜日)

12:30～ 受付

13:00～17:00 ワークショップ



(概要) 高知と兵庫の高校生どうしが、これまでの体験を踏まえ、話し合いをとおして自然災害についての認識を深め、高校生として何ができるかを考え、壁新聞にまとめ発表し合います。

17:00～19:30 夕食準備・交流会

8月3日(水曜日)

8:30～ 受付(高知東高等学校)

8:40～14:00 フィールドワーク

(案内: 高知大学理学部教授 岡村 眞さん)

(概要) 土佐市宇佐地域

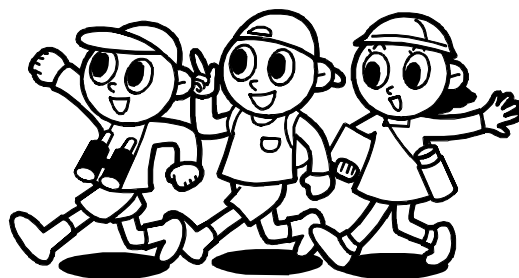
宇佐は、1707年の宝永、1854年の安政、1946年の昭和の南海地震で繰り返し津波の被害に遭っています。その史跡を訪ねるとともに、住民主体の津波対策をすすめる地域の取り組みをお聞きします。

講師: 宇佐地区町内会連合会事務局長
山本幸一郎さん

桂浜(昼食)防潮堤などの観察を行います。

五台山展望台

高知市内を一望し、昭和の南海地震で浸水した区域を、当時の写真と見比べます。

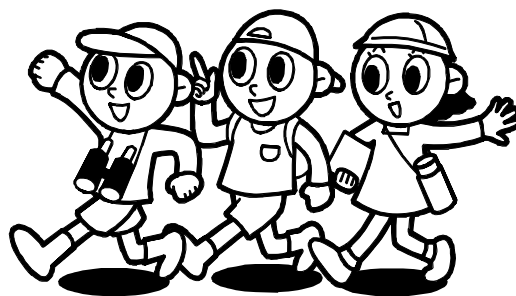
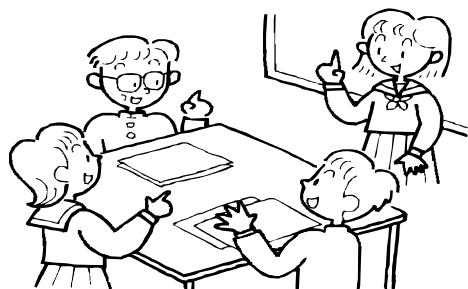


参加費 無料(ただし、2日夕食・3日昼食が必要な者は、自己負担となります。)

参加対象および参加申込 高知市内公立高校の高校生・教職員を対象とします。参加申込用紙に記入し、7月20日までに先生に提出して下さい。

主催 高知県立高知東高等学校

兵庫県と高知県の高校生による 防災ワークショップ & フィールドワーク



ガイドブック

全国で唯一「環境防災科」を設置し、自然災害について専門的に学んでいる兵庫県立舞子高等学校の高校生を招いて、これから南海地震を経験する可能性のある高知の高校生どうしが、「防災」について考え、何ができるかを話し合うとともに、お互いの友情を深めあいます。

日時 平成17年8月2日(火)～3日(水)

会場 (1日目) 高知県立高知東高等学校
(2日目) 土佐市宇佐 他

この冊子は、授業用の資料として、各種ホームページ・書物・地図を利用させていただきました。

主催 高知県立高知東高等学校

学 校 紹 介

兵庫県立舞子高等学校

校訓

「誠実」「健全」「親愛」「勤勉」

沿革

- 昭和49年4月8日 神戸市立舞子中学校において開校式並びに第1回入学式を挙
行
(入学生360名)
- 昭和49年 4月 9日 神戸市立他聞東中学校を仮校舎として授業開始
- 昭和50年 3月20日 兵庫県立舞子高等学校本校舎へ移転
- 昭和58年 9月25日 創立10周年記念式典を挙
- 平成 5年11月12日 創立20周年記念式典を挙
- 平成 7年 1月17日 阪神・淡路大震災発生、校舎等が被災、避難者受入
- 平成 9年 3月10日 太陽光発電設備設置工事竣工
- 平成14年 4月 1日 環境防災科設置
- 平成15年11月25日 創立30周年記念式典を挙

高知県立高知東高等学校

校訓

開校の精神「立志」。「立志」とは「未来を創造する」精神のことです。

沿革

- 昭和51年 4月 7日 開校式及び第1回入学式挙行、第1回入学生普通科270人、
衛生看護科40人、計310人
- 昭和60年11月 1日 創立10周年記念式典挙行
- 昭和63年 1月15日 「立志の花壇」完成
- 平成 5年 4月 1日 国際科開設
- 平成 5年 4月 7日 制服の改定
- 平成 8年11月 2日 創立20周年記念式典挙行 「立志の鐘」寄付受納
- 平成12年 4月 1日 普通科、国際科を改編し、総合学科開設
- 平成14年 4月 1日 衛生看護科から5年一貫の看護科・看護専攻科に
- 平成17年11月 5日 創立30周年記念式典(予定)

日 程

8月2日(火曜日)

- 12:30 受付(看護科棟1階玄関)
- 13:30 開会式(看護科棟1階集会室)
- ・主催者あいさつ
 - ・舞子高等学校の防災活動の取り組み紹介
 - ・高知東高等学校の取り組み紹介(放送コンテスト映像)
 - ・班分け 1班7人程度に分かれる(10班)
- 14:00 移動(集会室・南校舎2階図書室)
- 14:15 ワークショップ
- ・第1部 私と災害
 - ・第2部 私と災害ボランティア
- 15:50 移動(集会室)
- 16:00 発表
- 16:50 ワークショップのまとめ
- 17:00 終了・諸連絡・宿泊指導・集会室片付け・宿泊室に移動・宿泊準備
- 宿泊室 男子:看護科棟1階集会室
女子:多目的棟2階和室
- 17:30 夕食準備(北校舎1階調理室)
- 18:30 夕食会・片付け
- 19:00 よさこい鳴子踊り 見学・体験
- 20:00 入浴(多目的棟2階浴室)男子:21:00までに
女子:男子が終わってから
- 22:00 消灯

8月3日(水曜日)

- 6:30 起床・宿泊室片付け・出発準備
- 7:30 朝食(体育館1階食堂)
- 8:20 バスに乗車(宿泊室点検)
- 8:30 バス出発
- フィールドワーク
- 9:30~11:30 土佐市宇佐
- 12:00~13:20 桂浜(桂浜荘にて昼食)
- 13:40~14:00 五台山展望台・閉会式

防災ワークショップ(第1部)

会場：看護科棟 1階集会室・図書室（各5班）

自己紹介など(10分)

自分の名札に学校名、学年、名前（ニックネーム）を書いて胸に付けてください。

司会を決めてください。（1人）

発表者を決めてください。（第1部1人、第2部1人）

自己紹介など

1. 自己紹介（学年、クラブ、趣味など）
2. 私の高校はどんな高校？
3. わたしが学校で学んでいること
4. わたしが将来なりたいもの、その理由
5. 神戸ってどういうところ？
6. 高知ってどういうところ？

壁新聞(私と災害)(30分)

1～12の議題例を参考にして各班でディスカッションしてください。（2～5項目程度）

ディスカッションした内容を模造紙に書いてください。

ディスカッションした内容をあとで代表者が発表してください。

1. 南海地震の備えは？
2. もし、南海地震が来たらその時どうする？
3. 水害の備えは？
4. もし、水害が起こったらどうする？
5. 災害から自分や家族を守るためにどのようなことを心がける？
6. これから日本の災害、防災はどうなっていく？
7. これから世界の災害、防災はどうなっていく？
8. 自分が30歳になった時、防災でどんなことに関わっている？
9. 自分が60歳になった時、防災でどんなことに関わっている？
10. これから人は、どうあるべき？（防災に対して）
11. これから地域は、どうあるべき？（防災に対して）
12. これから世界は、どうあるべき？（防災に対して）
13. その他（各班で防災についての議題内容を考えてもかまいません）

休憩(20分)

防災ワークショップ(第2部)

壁新聞(私と災害ボランティア)(30分)

1～15の議題例を参考にして各班でディスカッションしてください。(2～5項目程度)

ディスカッションした内容を模造紙に書いてください。

ディスカッションした内容をあとで代表者が発表してください。

1. 災害ボランティアをやったことがありますか？
2. どんな災害ボランティアがありますか？
3. 災害ボランティアで苦労した点
4. 災害ボランティアでうれしかったこと
5. 災害ボランティアで悲しかったこと
6. 災害ボランティアで学んだこと
7. 災害ボランティアに行く前に何をすべき？
8. 災害ボランティアの現地についた時、何に注意すべき？
9. 災害ボランティアを終える時、どのようなことをすべき？
10. 現地への災害ボランティアに行けない場合、他にどのような方法がありますか？
11. 災害ボランティアをどのようにすれば、よりうまくいくと思いますか？
12. 災害ボランティア以外のボランティアにどのようなものがありますか？
13. あなたは将来、どのようなボランティアをしようと思っていますか。
14. ボランティアをする上で重要なことは、何ですか。
15. ボランティアを広げるためにどのようなことをすれば良いですか。
16. その他(各班で災害ボランティアについての議題内容を考えてもかまいません)

ディスカッションを行なう上での注意点

1. 一人が発表した後に、質問があればその場で聞く。それを派生させて、議論を深めても良い。
2. できるだけ、多くの人に発表してもらい、発表者が偏らないようにする。
3. もし、意見が出ない場合は、発表できる生徒が積極的に発表する。
4. できるだけなごやかな雰囲気ですすめる。

休憩・移動(10分)

発表(50分)・・・集会室

各班第1部、第2部の壁新聞を張り、5分ずつ発表する。(時間厳守)

まとめ(10分)

担当教諭がまとめの話をを行う。

フィールドワーク ガイド

アドバイザー 岡村 眞さん

高知大学理学部教授（理学部 自然環境科学科 防災科学）

専門分野： 地震地質学、海底活断層の研究、地震長期予測の研究

主な研究テーマ・活動

海底活断層の完新世活動履歴の研究

沿岸湖沼の津波堆積物の研究

高品位コア採取技術による完新世環境復元



1. 土佐市宇佐地域

宇佐は、1707年の宝永、1854年の安政、1946年の昭和の南海地震で繰り返し津波の被害に遭っています。その史跡を訪ねるとともに、住民主体の津波対策を進める地域の取り組みを聞きます。



講師 山本幸一郎さん

元高知商業高等学校教員

宇佐地区町内会連合会事務局長

住民の力でつくった山の上の避難場所に登ろう



山の避難場所から宇佐の地形を知ろう



宇佐の町を歩こう

- ・ 道の幅は？
- ・ いろいろな表示物
- ・ 川（水門）は？
- ・ 昔の防波堤は？
- ・ 避難のための設備

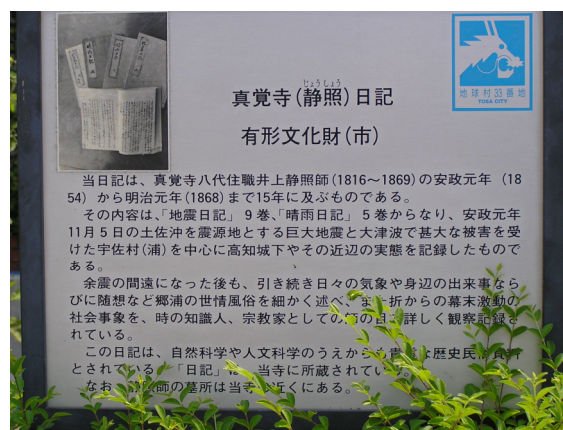


宇佐の過去の地震（津波）の歴史や現在の取り組みを聞こう（USA くるしおセンターにて）





昭和南海地震震災復興記念碑



真覚寺の
最高潮位碑



2. 宇佐から桂浜へ（花街道）

太平洋を右手に見ながら・・・

仁淀川

仁淀川は四国の最高峰石槌山に源を發し、ゆったりと蛇行しながら土佐湾に注いでいます。総延長125キロメートル、四国では四万十川、吉野川に次ぐ第三位の長さをもつ川です。下流部は川幅も広く、恵まれた河川環境を背景に昔から漁業の川として知られています。

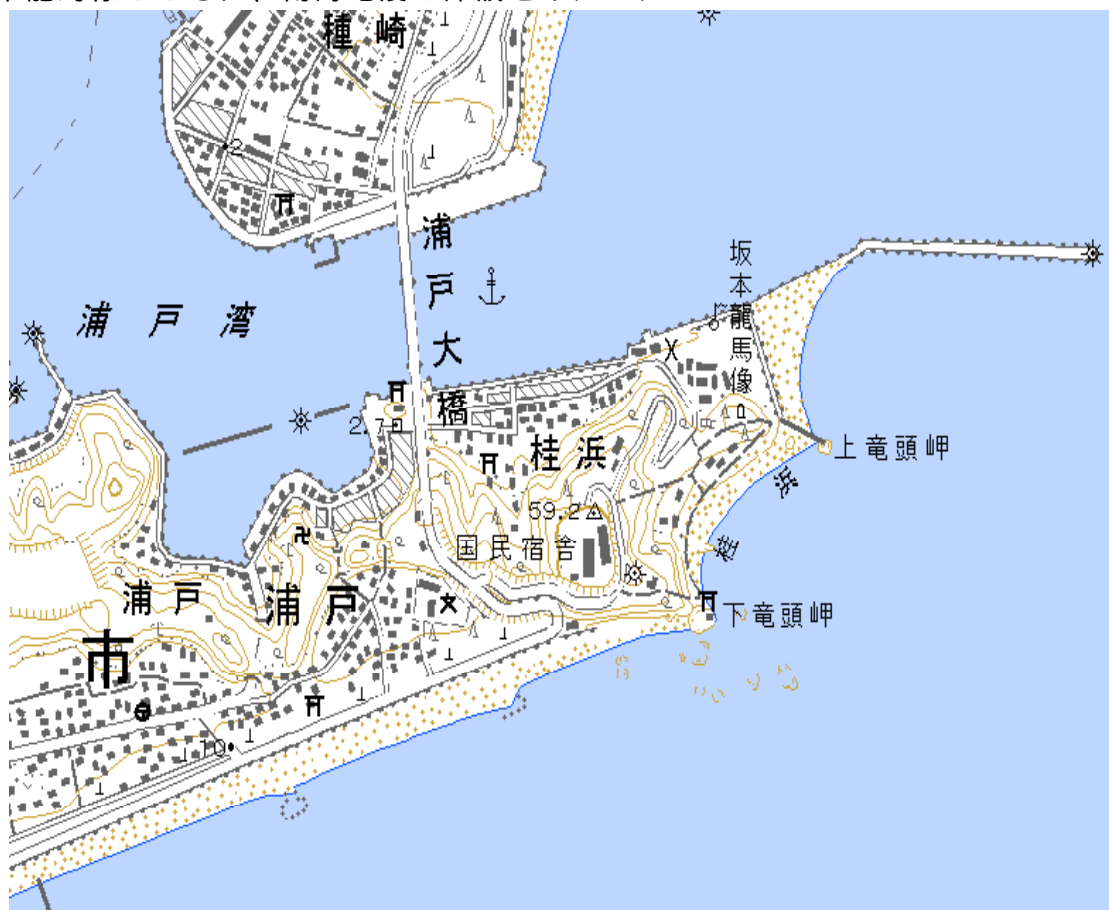
広い河川敷は、釣り、キャンプ、川遊びなどのレクリエーションに最適で、休日ともなると多くの家族連れや若者たちでにぎわいます。

仁淀川の流れは、大きく三種類の地質帯を横切っています。そのため、仁淀川の石はバラエティーに富んでいます。桂浜の石は、仁淀川が運んだ石でできています。



3. 桂浜

高知県立坂本龍馬記念館で「幕末の大地震展」を見学
坂本龍馬像とともに、南海地震の津波をイメージ！？



桂浜

『みませ、みせましょ、うらどを開けて、月の名所は桂浜』有名な「よさこい節」の一節です。「みませ」は「御置瀬」、「うらど」は「浦戸」と、桂浜周辺の地名になっており、桂浜も住所表示上は高知市浦戸に属します。

歌のとおり月の名所であり、中秋の名月の頃には 月見のイベントも行われます。歌人吉井勇に歌われ、文豪大町桂月にその雅号を与えました。

みよやみよ みな月のみの桂浜

海のおもよりいづる月かげ 大町桂月

！！この浜は遊泳禁止です。潮の流れが早く、とても危険です。

大駐車場近くには、土産、物産の販売所、世界の珍しい貝を展示するシェルパレス、土佐犬の格闘技を見る土佐闘犬センターがあります。



高浜虚子の句碑

横山黄木詩碑

坂本龍馬像

吉井勇歌碑

旧制高知高校歌碑

豪気節歌碑

坂本龍馬彰勲碑

田中桃葉記念碑

大町桂月記念碑

龍王宮



4 . 五台山から高知市内を展望

昭和の南海地震で浸水した区域を、当時の写真と見比べてみましょう。



メモ

資 料

よさこい祭りとは・・・

「YOSAKOI ソーラン祭り」のきっかけをつくった、本場、高知県で開催されているよさこい祭りをカンタンに紹介します。戦後生まれの歴史のない祭りとしては、ものすごい勢いで発展をとげたお祭りです。



きっかけは阿波踊り!?

戦後の混乱と復興の動きのなか、昭和25年高知市で「南国高知産業大博覧会」が開催されました。そのテーマ音楽に選ばれたのが「よさこい節」。よさこい鳴子踊りの原曲と踊りがこの時つくられたといえます。そして昭和28年、徳島県の阿波踊りを観た高知商工会議所の有志たちが「300年の歴史をもつ阿波踊りに負けない、永続発展してゆく市民の祭りをつくろう!」と奮起、打ち出したのが「よさこい祭り」なのです。

なぜ鳴子を手に持つの？

昭和29年「第1回よさこい祭り」は21団体750人の参加者で幕を開けました。振付けは日舞五流派のお師匠さん方へ改良をお願いし、作詞作曲は高知市在住の武政英策氏に依頼。この武政英策氏が、「阿波踊りの素手に対して、こっちは鳴子を手に持とう」と提案したものが現在まで受け継がれています。

開催日の謎...

毎年、8月10・11日に開催されるよさこい祭り。開催日が決定されたのは、なんと第1回目の昭和29年。高知气象台が過去40年の気象データを分析し、8月で最も雨が少なかった10・11日に毎年開催することを決定したのです。

全国に、世界に広がる

昭和34年に大ヒットしたペギー葉山の「南国土佐をあとにして」の映画化で、鳴子踊りの大群舞が収録され「よさこい祭り」は全国の人々が知るところとなります。また、昭和45年の大阪万博には、日本の祭り10選のひとつとして参加。昭和47年には、フランスのカーニバルにも招かれました。

そして現在

8月9日～12日の4日間、高知市内11ヶ所の会場で行われます。

8月 9日(前夜祭)

8月10日(本番1日目)

8月11日(本番2日目)

8月12日(全国大会・後夜祭)